夕刊
磐城新聞
十一月二十七日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)

現代歌謡詩人の行くべき道と新分野 (4)

中山輝

三

僕は端的に一つの病症を現代歌謡から引ずり出して僕だけの解答を示してみようと思ふ。それは、現代に於て歌謡詩人の作りつゝある作品の多くは單なる既成概念に基づく、偏狭な抒情精神に出發してゐるからだと云はうよりも、低俗な戀愛とか、新聞の三面記事式な社會事象を取扱ひ、これに對する深刻な人間性を附與してゐないからだ。今日の新しい歌謡の多くをみるがいゝ。馬子唄とか大漁唄とかの勞作民謡か、さもなくば蒼白きインテリか失業者、ルンペン乃至小作人、勞働者等の皮相的な呪咀咏嘆に終つてゐるか、時間的に云へば極短時間の現在に於ける心境を代辯して、過去への追憶の感傷か、現在の嘆息を表現してゐるにすぎないが殆んどである。それも多くは一人稱の獨白であり、内容に於ては何等の發展性を見出すことが出來ないのである。形式に於てまで拘束されてゐる歌謡では止むを得ないと云ふかも知れない。しかし内容の發展性まで拘束されてゐない筈である

この欠陷を埋め、活力を與へる一本の注射は、歌謡に於ける新しい浪漫精神であると云ひたい。もとく歌謡は抒情詩なのであるから、これは當然の欲求である。この新しい浪漫精神を活かし植えるためには、叙事民謡の提唱を僕は持ち出したいのである。野口雨情氏の抒情詩集『朝花夜花』にある作品や、近年に於ては佐藤惣之助氏の『牛男』(詩と民謡所載)藤森秀夫氏の初期のものなど一つの例である。僕も昨年『啞娘』を試作し、山村の啞娘が漁村の貧しい青年へ嫁ぎ、その青年が時化の夜沖に死んでから、貧しい山村の實家へ出戻りして笑はなくなつた啞娘が、峠で毎日夫の死んだ海を山の向ふに眺めて過ごし、顧みられぬまゝに、吹雪のやんだ朝、峠で死体となつて發見されたといふ

賀西山校長破勤續廿五年

珠雲 小野務中

諸生心服徳容豊
才學超羣識見隆
今日旌彰本其所
甄陶二十五年功

朝ご夜

朝の光が
流れ出る
——夜はこつそりかくれちやふ
明るい陽光は
つぎ〳〵に
——星の光を消しちまふ

朝の光は
流れ出る
——雲にも光もたせちやふ
明るい陽光は
つぎ〳〵に
——夜を明るくあけてまふ

かすかに水あるみづたけに
——星はうつすらかくれてる
あゝこんなところに
夜はひそでるんだ——

潮聲硯靜抄帳

初時雨 席上互選

普門寺の銀杏黄茶に初時雨　松堂
刈殘る山田に暮れて初時雨
吹きかわる風や端山の初時雨
黍の穂はすでに刈られて初時雨
柿赤く殘る枝あり初時雨　石城
初時雨天窓にさす月のあり

平『あけび』會

小規

一、目的
潮聲人の向上、協和と中央俳壇に進出し純正俳句の宣揚を目的とす

二、組織
會員は潮聲會員を以て組織す
新に入會の申込は潮聲會員の紹介を要す

役員
(い)幹事一名　理事若干名を置く
(ろ)幹事は會員多數の推薦、理事は幹事の推薦とす
(は)幹事は會務一切を總理し理事は會務を分掌す

三、句會
(い)會員は『あけび』應募句(〆切勵行)並に詞藻を投稿すること
(ろ)は『あけび』潮聲句會を毎月一回若しくは隔月一回開催する、會場其他はその時に通知す
(は)潮聲句會報は『あけび』に掲載するものとす

四、會費
(い)會員は『あけび』誌代一ヶ月金拾五錢、前納以上の規定なるも取扱の便宜上
三ヶ月分(三冊)金四十五錢
六ヶ月分(六冊)金九拾錢
一ヶ年分(十二冊)金壹圓八拾錢
の内任意最寄理事に托送すること
幹事は取纏めて『あけび』本社に送附すること
(ろ)平『あけび』潮聲句會費は潮聲會の剩餘金または有志の寄贈に據り當分會費を要せず

以上の經過により潮聲は第八十五集を以て休刊とすることになりました

附記

平『あけび』會の役員は同第一回の句會に於て決定するまで左記同人に於て代行す、會員は便宜最寄の同人に就き承合されたい

金子石城　渡邊武門　大和田秀勝　矢吹長貫　赤羽松堂

11月28日

△親鸞上人入寂(弘長二)△井上馨公誕生(天保六)△桂太郎公生る(弘化四)△鹿鳴館開館式(明治一六)△西義一氏大將に陞進(昭和九)

その日〳〵

○

朝のまだ眠いさかりに景氣よくドンドコ〳〵相撲の太鼓を鳴らされるので寢坊には少からず苦が手だ

講談 黄金魔刄 (14)

高桑義生作　樋口悦也畫

雁の旅 (五)

『やあ、これはいゝ』

と辰巳屋は入るといきなり欄干に立つてパッとひらけた海手の景色に見入つた

殘照をわづかにたゝへた大村灣臼島、箕島の青螺が浪に浮んで遠く眉のやうな山々、泊りの船に岸邊の家に點々たる燈火、繪のやうな港のひともし頃

『こちらは眺めがよろしうございます』

と、女中は茶をくみながらいふ

『今夜はだいぶ立込むやうだな』

と、連れの男は、おなじ商人風だが日にやけた顔、手足、體のこなしが傳法で辰巳屋よりも年をくつてゐる

こゝは碇屋の別棟の二階座敷だ

『はい、この頃めつきりいそがしうございます。ふだん此方のお座敷は使ひませんので出入りに不自由でございますから』

『さうかい、出入り位——な此方の方がズンといゝ、なあ喜藏』

と辰巳屋は振返る

『さうですとも、何しろ繁昌で結構だ。やつぱり別嬪のゐる家は違ふな』

『おほゝゝ御冗談ばつかり。どうぞお召替をなさいませ。あの、すぐお風呂になさいますか?』

『あゝ、明いてゐたらざッと浴びたい、それから飯だ!』

『酒はいはずとも、心得てゐるだらう』

『はい〳〵、では只今見てお知らせいたします』

女中があたふたと出て行くと、喜藏といふ年上のが小指を出して

『見ましたか?』

『フン、案外お前も眼が早え、な』

辰巳屋はニヤリとした

『おれが氣がつかずにやアゐられねえ。滅法飛び切り——尋常者ぢやありませんせ』

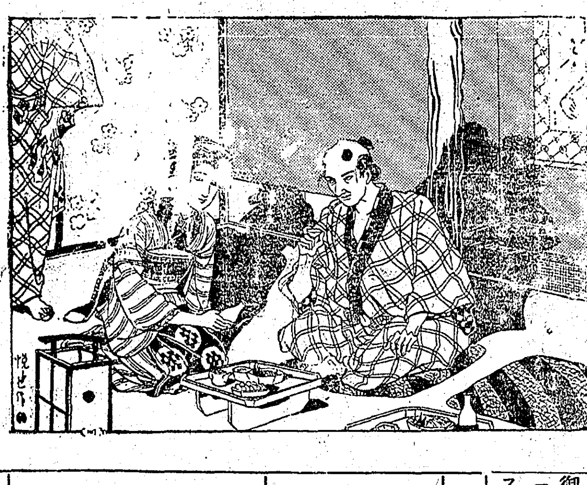
『知れた事』

『何者でせう? 一人かそれとも連れがあるのか?』

『フン、訊いて見ねえよ。生憎こゝからは見えねえが、この向う二階、右のはづれの部屋にお在で遊ばさあ』

『えッ、もう部屋まで知つてゐるのか、こりやア恐れ入つた』

『誰だと思ふ。だがそんな者に係合つちやアゐられねえ……』



『あの、お風呂が明きました』

別の女中が知らせに來た

『よし來た。仲よく浴びて來ようぜ』

二人は威勢よく女中のあとについて行つた

喜藏が先に上つて來るとお膳が二つ、お銚子がちやんと待つてゐる。前の女中が入つて來た

『お連樣は?』

『まだだ。先にポツポツはじめようか』

『でも、お待ちなさいましては?』

『ヘン、どうも男ッ振のいゝのにひいきすぎるな』

『まあ、お口の惡い。それではお酌いたします。どうせお氣には入りますまいが……』

『その通り』

『あらッ』

女中は手をあげて打つ眞似をする

『ヨウ〳〵、宵から痴話喧嘩はごめんだ、ごめんだ』

辰巳屋は濡手拭をさげて入つて來た。女中はポッと赤くなる

潮風に行燈がほのめいてのびのびとした船唄が流れて來る

『姐さん、この家はずいぶん廣いんだなあ』

『はい、お客座敷だけで三十六室ございます』

『ぢやアなか〳〵いそがしいだらう。一々酌をして貰つちやアすまねえ。あと二本ばかり持つて來て置いて行つて貰はう』

『左樣でございますか、すみません』

女中がさがると、辰巳屋は聲をひそめて

『おい、來てゐるぜ。立山御役所の玉虫權六……』

『えッ、千里眼のおやぢ、フウ……』

廣告

株式現物賣買
三共商事合資會社
平町大町通り
電話三六〇番

下痢病妙藥ヲ御紹介致シマス
天下一品散
平町ネヅミ坂角
特約店 桑原商店
『取次販賣需ニ應ズ』

新田町
榮ちゃんの
しろうど料理
天下一品不味い
榮ちゃんの
おでん

耳鼻咽喉科專門
高柳醫院
平驛前(電三三六)
醫學博士 高柳博明
(入院應需 自炊ノ便アリ)

丹野齒科醫院
丹野淳夫
平驛前電話三八五番

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
電話九二五番
院長 醫學士 金森五郎
入院隨時

◉おいしい事は日本一
◉安い事。日本一
榮養 美味 …平ケーキ…
榮養增進の爲めに……
御家庭のお八ツに……
お子樣の間食に……
御訪門の御土産に……
祝儀不祝儀の引菓子に……
◎衛生的にも日本一!!
多少に不拘電話を御利用下さい。
磐城平町二丁目
日進堂本店
電話六三五番

磐城代表的の土産品
山。靈峰羊羹
里。柿羊羹
海。のり羊羹
各一本金十錢
右美麗三本箱入 特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土産品です
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川郷驛前
平屋賣店

贈答物に
鰹魚節
御値段ハ御相談ノ上如何程にても御自由です。
日華生命保險株式會社平代理店
宍戸屋商店
平町四丁目
電話(鹽干部)二一五番 (鮮魚部)四〇七番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、機械架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

探勝に療養に
常陸 關南鑛泉 (創業二百餘年)
効能 神經衰弱 胃腸病 神經痛
附近名勝
■五浦岡倉天心別莊
■大津港・平潟港
■勿來關・天妃山
常磐線關本驛下車バス連絡 (平驛ヨリ一時間半)
茨城縣多賀郡關南村
名湯 鹿の湯 松屋
一泊一圓五〇錢
赤津與身

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平町紺屋町三六

鑑定項目
名前のみで一代の運命
何んでもわかる……
体。力。 肉体(健康、不健康、相貌)疾病(病根病勢、病名)に關する一切
活。動。 職業(適業、不適業)天運(成功、不成功、災厄)に關する一切
血。緣。 家族運(父母の緣、夫婦の緣 子供有無)男女緣(氣質、相性、相尅、婚期、方位)に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、性名、生兒名

9ミリ半
ポニイ
活動撮影機 ¥18.00
活動映寫機 ¥17.00
西村屋藥舖
平 二・電 三

漆器　家具　神佛具　雜貨　文具　裁縫具
卸小賣
近江屋
平町二丁目
電話七一一番
小店員と女中募集

諸橋外科醫院
電四六四
平町新川町二七
內臟外科
皮膚科
花柳病科
レントゲン線
醫學博士 諸橋鐵彌
醫學士 奥義弘

隣村の空氣も良く 市制の陣容着々整ふ
明後十二年の實施確實

平町の隣接五ヶ村合併交渉は既報の如く去る十八日の飯野村を皮切りに平窪、內郷、好間を了し、殘るは來月二日午後一時からの神谷一村のみになつたが、これとてもさきの第一次交渉に於ける全村合併の方針らしい比較的安易と見られた空氣徴し恐らく初期の見込通り進捗するものと見られてゐる

委員間の意向として前記五ヶ村中一ヶ村でも交渉成立の場合は直に市制を實施に進まうとしてゐた處へ人口三千四百三十餘名を有する平窪村が既報の如く大乘氣でこれで既に人口三萬の市制陣容が整ふので齊沼町長が今春の豫算總會で言明した昭和十二年度市制實施の膳立ては目下順調に運ばれてゐるわけだ

附隨して決する 當面の學校諸問題
急速を可とする一理由

合併に關する隣接村の空氣既に斯の如く、恰も焦眉の急問題として商業學校の新築に惱んでゐる町では現在の町內に建設の適當地がなく若し隣接部落が合併さるゝば直にその方面に敷地を物色して十萬圓の新築費を投げ出す意向であると云はれ一面飯野、平窪其他でも校舎増築の必要に迫られ其間の緩和上合併實現の一日も早からんことを望んでるものも少からず近く開かるゝ是非決定の村會は多大の期待を持たれてゐる

上遠野村 深山田復舊決定
近く測量設計に着手

過般の風水害激甚地と云はれてゐる上遠野村深山田部落は既報の如く郡選出縣議等を通じ縣當局にこれが復舊工事方を陳情したが此程初視察した河合土木課長の實踏により愈々その急務を痛感したので縣では直に明二十八日から數日間に亘り遠藤技手、矢部技手外一名が出張砂防工事其他の施工測量設計を進める事になつた

流失二橋架換 川部村に於ける過般の暴風被害は調査の結果總額二萬二千圓に達してゐる中瀬戸沼部兩橋梁は今回工費四千六百二十圓で架換する事になり目下準備中

兵事々務研究會 平署管內平、小川、鹿島、高久の兵事々務研究會幹事會を來月三日午前十時から同署會議室に開く

平町陪審員候補抽籤會 平町では來る二十九日午後二時から町會議事堂で陪審員候補者十三名選定の抽籤を行ふ

組合設置を奬めて 滯納絕滅を期す
小名濱町で決議

小名濱町では既報の如く二十四日の納稅デー當日優良組合長志賀長治氏外四十五氏に對し小野町長から表彰した外小學校に納稅講演を催し左記を決議、新組合の設置奬勵を打合せた

町村自治の運用を圓滑ならしむるは租稅の完納にあり依つて我等は納稅義務の實行を期し滯納者を皆無ならしむる事

精巧な 山火警報器
郡內二ヶ所に設備

平、植田兩營林署合作の山火事豫防警報器は來月一日から內郷村川平地內及湯の嶽山口の二ヶ所に設置される

この警報器は高さ一四米の竿に三角の赤旗を三つ連ねた簡單なものであるがその溫度計によつて警備員の警戒を促すといふ精巧なもので東北最初の企てである

輝く青訓
實施滿十年に際し 郡下の三氏表彰さる
全國功勞者八百十二名の選に入つた 藤田、赤津、大橋各優良指導員

文部省では大正十五年青年訓練が實施されてより本年は滿十年に相當し、併せて青年學校令で制定せられ青年教育上に躍進的發展を遂げた記念すべき年であるので、地方青年訓練功勞者八百十二名を表彰することゝなり、二十五日附右傳達方を各地方長官宛通牒を發した、土に塗れて郷土青年の指導教育につとめ、今日までその勞苦に酬いられることなく今回初めて酬いられる表彰者中本縣關係者は二十四名、內本郡では創設以來の勤續者たる左記三氏である、尙藤田氏は昭和五年二月本縣最初の優良指導員として縣から表彰され、大橋氏は六年、赤津氏は八年同じく表彰を受けてゐる
と

平町藤田榮助　勿來町赤津一　內郷村大橋貞勝

木材船轉覆
船頭溺死か？

二十五日午後二時半頃田人村鮫川上流犬戻し地內で川部村小川字北の內船頭鈴木茂八(三六)は木材運搬中船が轉覆して行方不明溺死したものらしい

風凍る朝鮮へ
平町からの入營兵 來三十日出發

平町今年度左記朝鮮第十九師團入營の諸君は何れも三十日午前九時發で出發、尚北白銀町三八長谷川定二君は金澤第九師團山砲兵第九聯隊入營の爲二十八日午前九時で出發

步兵第七三南町高橋義人　第七六紺屋町水竹正二　同長橋町龜岡良雄　山砲第二五二丁目星野嘉久治　同北目町柴野貞夫　步兵七六才槌小路橫山昇　工兵第一九大隊紺屋町山野逸初　步兵第七三田町引地正雄

滿期歸鄉者

尙左記三君は滿期除隊となり歸鄉する

卅日午後四時四十三分着千葉鐵道第一聯隊（大工町）丹野勝榮　△十二月一日午後二時二十分着步兵二十九（紺屋町）松田一（南町）本間七五三吉　同午後三時十七分着近衛輜重兵大隊（長橋町）甁島富士夫

農産物品評會 上、入遠野、田人三ヶ村聯合農産物品評會は二十二、三、四の三日間田人小學校で開いた出陳合計千二百六十五點審査の結果入遠野佐川歲雄（玄米）外十四氏が一等に入選

郡下にどの位？
近く調べ上げる
國富の概算と住民所得

內閣統計局では來月末十年度現在による國富、國民の所得調査を行ふ事になつたので本郡は縣係官臨席の下に來月十一日午前九時から平圓体事務所に平、小名濱、草野、平窪上、下小川、玉川、豐間の町村係員が會同これが實施に關し種々協議する事になつた、これにより郡下に於ける國富と住民の所得が判る事になる

体操科視察研究會 縣の体操科視察研究會本郡の分は來月九日平第三校、同十日小名濱校に於て行はれるが、當日は千田縣体育運動主事縣擔當吉川縣視學、各中等校体操擔任教師その他臨席の下に研究教授、施設報告等あつて後に研究批評會を開き出席者相互に批評の上講評を行ひ同科の向上を圖ると

初秋の山野に 健兒二千の跳躍
郡下青年學校聯合演習

郡下青年學校の聯合演習は既報の如く來る三十日（土）來月一日（日）の兩日に亘り鹿島、玉川、小名濱方部に於て郡下四十七校二千十一名を動員、各校長、指導員統監部等總計二千八十七名により

（統監部）統監篠山聯合會長、補助吉田、西山兩副會長

（中央審判部）長大井川中佐（磐中）佐藤中尉（平商）以下兩中等校敎練敎師

（北軍審判部長）中野中佐（四倉）

（南軍同上）齋藤少佐（泉）

（北軍支隊長）四家少佐　平　平窪　赤井第一　同第二　好間第一　同第二　草野　神谷　大浦　夏井　飯野　高久　大野　鹿島　小川　上、中、下三坂　澤渡　合戸　永井　渡戶　箕輪第一　同第二　差鹽　川前　桶賣　四倉（二十八校九百五十餘名、三ヶ中隊に分かち平を根據とする）

（南軍支隊長）比佐大尉　磐崎　植田　錦　渡邊　山田　川部　玉川　泉　內郷　同鑛青　勿來　小名濱　江名　湯本　菊田　田人　上遠野　入遠野　豐間（十九校九百三十餘名、之亦三ヶ中隊に分ち湯本を本據とす）

の編成で（第一日）は兩軍午前十時迄に各本據地に集合、北軍は同十一時半情況を開始して小名濱街道を玉川村指して南下、南軍は午後零時半出發、鹿島村南部を指し、玉川村住吉東方に於て衝突、遭遇戰を展開して午後四時終了、同夜は三ヶ所に宿泊し昨年と同樣各審判官により軍事講演會　玉川校（二ヶ中隊）中野中佐　佐藤中尉　鹿島校（一ヶ中隊）比佐大尉　小名濱校（三ヶ中隊）大井川中佐　を開き時局講演の外に生徒の餘興等を行ふ

（第二日）西軍（北軍）は午前六時情況開始出發して玉川村原木田東端に進展、東軍（南軍）は小名濱に集結して同八時防禦配備を完了小名濱町北部郊外に攻防戰を展開し同九時休戰ラッパに終了、同九時半一同小名小學校に集合して閱兵分列式を行ひ講評訓示の後三十ケ年以上勤續指導員（敎練科）に感謝狀を贈呈十一時終了正午解散の豫定である

投槍
投書歡迎

野犬整理大贊成。。。。。。

◇人を訪ねやうとしても玄關先に小ウシの樣な其の家の所謂愛犬がとぐろを捲いて居たりすると直ぐ廻れ右をする程犬嫌ひの自分にとつて目下其筋で勵行中の野犬整理は大贊成だ

◇物を買ひに行つても店先の犬相の惡いのに胡亂臭さうに睨め廻されては一寸入つて見る勇氣が挫かれる、稅金を拂つた蓄犬に於て既に然り、犬は客商賣に大の禁物だ、是非裏の方に繋留して欲しい

◇つい先ごろ、自宅の床下に雌の野犬が巣をくつてお產をした、仔犬が終夜クンく嘀き續ける、彼らの性的遊戯から出た事丈けに當事者間に責任の紛淆などは無く至極平穩だが納まらぬのは宿主の胸だ

◇旋て其の邊から履き物を椽下に咥え込む、長男の靴二男の下駄等々・野犬の跋扈に因つて被つた自分一家の損害は單り分娩當時に於て惱まされた安眠妨害ばかりでなく物質的にも決して生まやさしいものではない

◇犬を怖れぬ勇氣を養ふ爲第一に之を理解しやうと先年仔犬を貰つた處夜半に家內の結び立ての丸髷を舐めたり雛を追つ飛ばしたりするので直ぐお拂ひ箱にした

◇また警察署が紺屋町に在つた頃、全町に亘つて物騷な犬を書き出し適當の取締方をお願ひした程の犬嫌ひだ。今度の野犬整理に方り規則に悖る場合更に蓄犬の上に迄機宜の御取締りを熱望して措かぬ一人である（新川畔腰辨生）

內郷の棍棒慘劇
傷害致死で送檢
同席の二名釋放さる

既報＝貸金の催促から遂に同僚の桑原留次郎を毆殺した內郷村大字宮字台吉川幸太郎は引續き平署の取調べを受けてゐたが傷害致死罪と決定書類を昨二十六日送檢、身柄は犯行の際負傷してゐるので全治の上來月三日頃送局する事になつた

吉川は當日桑原から貸金一圓の催促を受けたが斷はり二度目に五十錢を出した處、澁々出すとは氣に喰はぬと刺身庖丁で斬りつけられたのに憤慨の餘毆り殺すに至つたもので吉川と一緒に飲酒共犯と見られた同村綴土工草野淸次（四三）好間村土工岡部信行（三六）の兩名は疑ひが晴れた

少年救護委員任命 湯本町小學校長篠原保治同入山校長岩堀宅治の兩氏は此程少年救護委員に命せられた

平女青幹部會 平町女子青年團では今二十七日午後二時から第二校作法室に幹部會を開き曩の資金造成映畫會の反省會を開いた

平商珠算競技 平商業學校では明二十八日午前十時より全校生徒の珠算競技會を開く

商友會幹部協議 平商業學校卒業生の商友會では明二十八日午後六時よりマルトモホールに幹事並評議員會を開き母校校舎新築陳情東京支部長選任その他に關し協議すると

二十八日（小名濱測候所調査）
日出 六、二四　月出前 八、二一
日沒 四、二五　月沒後 六、〇五
滿潮前 六、三〇　後 四、二〇　干潮前 一〇、〇五　後 一一、二五

舊十一月三日　木曜　先勝　戊申　收　奎宿　新十一月廿八日

新判定總帥　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　他に心を轉ずることなく本業を守るが安全▲二黑　旺盛なる運氣を辿り諸事達成し利益多し▲三碧　手を延ばし過ぎて足元はおろそかとなり易し▲四綠　しゆん險をよぢのぼるが如き日疲勞のみ加はり望無し▲五黃　間げきを生じて不利共れより起らんとする日▲六白　思案のみにふけりて手遲れとなり後悔する日▲七赤　自己の本分とする所に努むれば安全を保つ▲八白　福祿は熱心と精勵とに依り出現し來る吉日▲九紫　眞一文字に本道を進まれば目的地に達す

廣告

平町六丁目　木村外科醫院　電話 三〇九番

松村醫院　院長 松村鐵郎　平町南町電一〇七

季節向御料理

毎度格別なる御贔屓に預り難有御禮を申し上ます
弊店獨特の季節向御料理ご致しまして此度は純江の島料理を始めました何卒御尊來御試食を賜り度伏して御待ち申上げます。

◎江の島料理
松　珍味江の島鍋共五品 御一人前　金壹圓五十錢
竹　同　金壹圓貳拾錢
梅　同　金壹圓
毎日献立差替調理致します。

豫て御好評のヒナ鳥
◎水たき
◎鯛茶

御婚禮、忘年會、新年會は特に御相談に應じます。

割烹 住吉屋本店　電一五九番

定評有る大塚の靴

◎女學生靴 新製品（目下大流行）スポーツ型 三ツハトメ 五、五〇
△月星ゴム長靴 七文より十一半まで
△ゴム半長靴……入荷
△將校ゴム長靴……入荷

丸善製品
冬のアンダーシャツ 七〇より
純毛スエーター 二、五〇より
新型ヂャンバー 三、〇〇より
同トレーニングパンツ類
防寒スキー靴下及びボーシ

田町の大塚へ　電話七十七番

流行ノ下駄ト草履ハ！ ドコヨリ安イ
南町 三井ハキモノ店　電話一八一番
（小僧さん入用）

冬服特賣

セビロ三ツ組（九圓ヨリ 二十三圓まで）
實用向オーバー（三圓八十錢ヨリ 九圓五十錢まで）
1936型Wオーバー（九圓五十錢ヨリ 二十五圓五十錢まで）
トンビ（六圓ヨリ 二十三圓五十錢まで）
モヂリ（三圓ヨリ 五圓五十錢まで）
紺サージ外套（六圓ヨリ 十圓五十錢まで）
サージ立襟服（上下 五圓九十錢ヨリ 拾四圓五十錢まで）

㊣ 正札堂洋服店　平町四丁目　電四三六番